

令和7年度第1回野田警察署協議会

1 開催日

令和7年7月2日（水曜日）

2 開催場所

野田警察署

3 出席者

・ 協議会委員 9人 ・ 警察署 11人

4 業務報告

(1) 生活安全課「野田市内における犯罪情勢について」

(2) 交通課「交通課の活動状況について」

「速度取締り指針、交通人身事故実態」

5 警察署からの諮問事項

【諮問】速度取締り指針について

【答申】なし

6 委員からの要望・意見等

(1) 【質問】野田市での防犯対策費用の助成について説明願います。

【回答】野田市では、防犯グッズの購入と設置費用の助成制度が7月1日より始まりました。この制度は県内では船橋市に次いで2番目となります。防犯カメラ、防犯フィルム、センサーライトその他10品目につきまして購入又は設置した費用の1/2を、ただし上限は2万円まで、各世帯で1回のみ助成できます。また、防犯対策費用助成とは別に自転車用ヘルメット購入に関しても、上限は3千円までとなりますが購入金額の1/2を助成する制度があります。

(2) 【質問】自転車の乗り方について、踏切手前や一時停止の指定場所では一時停止しなければなりません、一時停止している人は少ないと思われます。また、自転車の正しい乗り方について知らない方が多いように思われ、一般市民には浸透していないのではないかと。

【回答】自転車に関しましては、歩行者の感覚で乗車されている方が多いですが、自転車は軽車両に分類され、自動車と同じ区分となり道路交通法も同様に適用されますので、自動車運転免許証を持っている方につきましては自動車の運転と同じように交通法規を守っていただければ良いと思います。また、道路を走行している自転車に対しての指導を随時実施しております。学生に対しては小中学校を中心として各種教室を開催し自転車の乗り方について浸透させて

いるところです。

(3) 【質問】 歩行者専用の信号機のある交差点では、自転車は歩行者専用信号機に従い横断歩道を通行できるか

【回答】 自転車が歩道走行可能な歩道を走行している場合は、歩行者用信号機に従い走行できます。自転車が車道を走行している場合は、車道の信号機に従うようにしてください。

(4) 【質問】 最近大きな事件や空き巣などの犯罪が多いが、そのような犯罪に巻き込まれないためには、どのように備えれば良いか。

【回答】 防犯カメラやセンサーライトを取り付け、犯罪が起こりにくい環境を作っていただくか、防犯組合の方にパトロールをしていただいたり、近隣の方同士で声を掛け合っていたり、情報の共有をしていただいとお互い注意し合い、不審者がいたらすぐに通報していただくとかそのような関係性を築いていただくなどして、備えてもらえればと思います。

(5) 【質問】 郵便局で、SNS等で詐欺の話に引っかかりお金を振り込もうとする方が多く、声掛けをして被害を事前に止めることがよくあるのですが、そのような詐欺事件を防止するためのチラシなどを郵便局において広報を実施したいのですが。

【回答】 最近そのような犯罪が増えてきていますので、注意喚起するチラシを作成して置かしてもらい、未然に犯罪を防ぎたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

(6) 【意見】 信号機のない横断歩道で、死角から左右を見ずにいきなり渡る人をたまに見かけますが、とても危険だと思います。横断歩道を渡る歩行者も気を付けて渡るように指導した方が良いと思います。

【回答】 学生や高齢者を対象とした交通安全教室では、横断歩道を渡る際左右をよく見て渡るように指導しています。

(7) 【質問】 工業団地は週末になると人が全くいなくなり空になる企業が多く、車や資材が盗まれたりしないか心配です。警察でパトロール等してもらっているとは思いますが、企業おのおのができる対策はありますか。

【回答】 はい、引き続きパトロールを強化させていただきます。また、防犯対策として、防犯カメラ、センサーライトを取り付けていただきますと、非常に犯行のしづらい環境を作れると思います。また、防犯講話という形で職員を派遣して犯罪情勢に関する話や防犯指導等できますので、呼んでいただければと思います。

(8) 【質問】 町内会の中で空き家が有りまして、先日何件か泥棒に入られてしまいました。空き家なので大して金品も置かれてないのですが、ガラスを割られて入られてました。なにか対策はないでしょうか。

【回答】 現在対策を練っているところでして、空き家の持ち主とどう連絡を取り合い指導をしていくかというところを市役所と共有して検討しているところがあります。やはり、犯罪をやりづらい環境を作ることが大切で、防犯カメラやセンサーライトを活用していただくのが良いと思います。また、不審者を見かけたら警察に通報してもらえれば、すぐに向かいまして警戒や赤灯を回したパトロールなどができます。

(9) 【意見】 小中学生に対する交通安全教室では、学校の先生方が指導するより、制服を着た警察官の皆様が説明する方が、生徒もよく話を聞き効果があるように思います。

【回答】 これからも引き続き、各学校に対する安全教室等実施させていただきます。

7 答申等に対する措置結果
なし